



概要

○人力に頼ることが多い植栽や下草刈り等の労働環境を改善するため、造林・保育作業への林業機械の導入や植栽が容易なコンテナ苗の利用拡大等により、低コスト化・省力化につながる施業方法の実証・普及等に取り組めます。

森林施業の機械化

■森林施業の施工方法別内訳(R5) (ha)

<地拵>

区分	人力地拵	機械地拵	計
面積	347	291	638
割合	54%	46%	100%

<下草刈り>

区分	人力下草刈り	機械下草刈り	計
面積	3,875	3	3,878
割合	99%	0.1%	100%

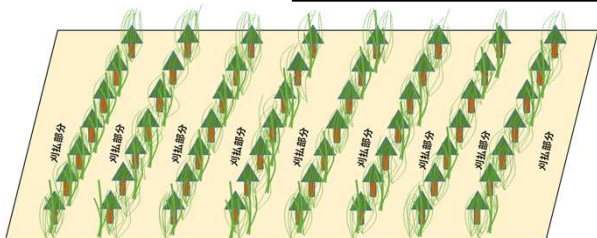
地拵えに対し下草刈りの機械化が低迷

令和6年度の取組

下草刈り作業の機械化に向けて

- ・機械による下草刈りを試験的に実施し工期を調査。
(渡島東部、上川南部、上川北部、網走東部、十勝)
- ・機械下草刈りを想定した列間のみ刈払いによる植栽木への影響について調査。
(渡島東部、胆振、上川南部、上川北部、網走東部、十勝)

機械を用いた下草刈り作業を導入



機械による刈り払いイメージ(列間のみ刈払い)



リモコン式草刈り機による下草刈り作業



小型機械による下草刈り作業

コンテナ苗やクリーンラチ等の利用推進

- ・植付けが容易なコンテナ苗を平成25年度から先導的に導入し、その利用を拡大。
- ・現地の状況に応じて、下草刈りの年数を短縮できる成長の早いクリーンラチやゲイマツ雑種F1などの植栽を推進。



コンテナ苗植栽

■苗木植栽実績(千本)

区分	R1	R5	R6計画	
			()内はコンテナ苗	割合※1
カラマツ	264	458	418(143)	34%
ゲイマツ雑種F1※2	29	50	41(20)	49%
トマツ	1,084	1,151	1,188(228)	19%
アカエゾマツ	324	82	64(3)	5%
スギ	14	-	-(-)	-
その他	97	173	175(5)	3%
計	1,812	1,914	1,886(399)	21%

※1:苗木全体に対するコンテナ苗の使用割合
※2:「ゲイマツ雑種F1」は「クリーンラチ」を含む

■関連指標:コンテナ苗利用本数

H29~R2年度までの実績平均	R8
80千本/年	500千本